

海底土核種分析結果

参考値

(データ集約：4/20)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に 約30m地点)	福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口付近)			
試料採取日 時刻	平成24年4月18日 8時55分	平成24年4月18日 8時30分			
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/kg・湿土)				
I-131 (約8日)	ND	ND			
Cs-134 (約2年)	620	590			
Cs-137 (約30年)	910	810			

その他の核種については評価中。

本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約11Bq/kg・湿土) を下回る場合は、「ND」と記載。  
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

## 海底土中の Pu 分析結果

### 1. 測定結果

(単位：Bq/kg・乾土)

採取場所	採取日 分析機関	Pu-238	Pu-239+Pu-240
岩沢海岸沖合 3km	3月4日 日本分析センター	N.D. [ $<1.5 \times 10^{-2}$ ]	$(3.0 \pm 0.22) \times 10^{-1}$
岩沢海岸沖合 8km		N.D. [ $<1.4 \times 10^{-2}$ ]	$(4.8 \pm 0.30) \times 10^{-1}$
小名浜港沖合 3km	3月15日 日本分析センター	N.D. [ $<1.8 \times 10^{-2}$ ]	$(4.0 \pm 0.28) \times 10^{-1}$
相馬市沖合 3km	3月22日 日本分析センター	N.D. [ $<1.6 \times 10^{-2}$ ]	$(5.4 \pm 0.34) \times 10^{-1}$
原町区沖合 3km	3月23日 日本分析センター	N.D. [ $<1.5 \times 10^{-2}$ ]	$(5.2 \pm 0.32) \times 10^{-1}$
小高区沖合 3km		N.D. [ $<1.7 \times 10^{-2}$ ]	$(5.1 \pm 0.33) \times 10^{-1}$
福島第一 敷地沖合 15km	3月26日 日本分析センター	N.D. [ $<1.5 \times 10^{-2}$ ]	$(2.0 \pm 0.17) \times 10^{-1}$
福島第一及び福島第二付近の近海における過去の測定範囲(平成11年度～平成20年度) <sup>1</sup>		-	$1.7 \times 10^{-1} \sim 5.6 \times 10^{-1}$
国内における過去の測定範囲(平成18年度～平成22年度) <sup>2</sup>		N.D. $\sim 6 \times 10^{-2}$	-

[ ]内は検出限界値を示す

1：出典「平成21年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書」(福島県原子力発電所 安全確保技術連絡会)

2：出典 文部科学省.“環境放射線データベース”.

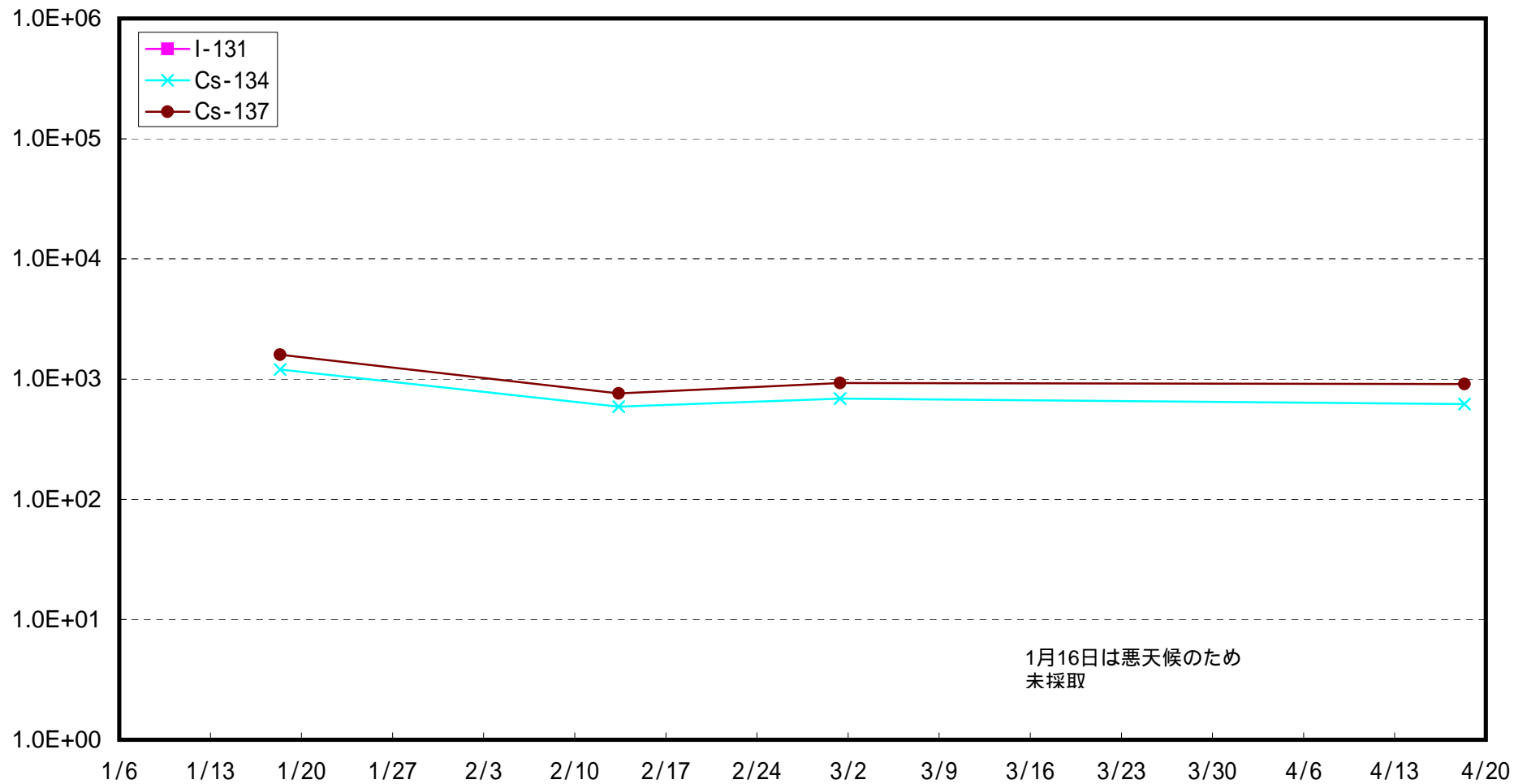
<http://search.kankyo-hoshano.go.jp/servlet/search.top>, (参照 2012-01-18).

### 2. 評価

3月4日～3月26日に検出された Pu-239+Pu-240 の濃度は、福島第一及び福島第二付近の近海における過去の測定値の範囲内であることから、今回の事故に由来するものとは判断できない。

以上

福島第一 5,6号機放水口北側 海底土放射能濃度 (Bq / kg・湿土)



# 福島第一 南放水口付近 海底土放射能濃度 (Bq / kg・湿土)

